

平成 29 年度

大井川の源流を学ぶ視察会 実績報告書

視察日 平成 29 年 10 月 19 日（木）～ 20 日（金）



田代ダムから、大井川より取水された水が流れ込む方向を望む

大井川の清流を守る研究協議会

平成29年度 大井川の源流部を学ぶ視察会 参加者名簿(10/19~20)

No.	氏名	男女	住所地、市町名	備考
1	大石 近司	男	島田市	
2	北川 隆久	男	島田市	
3	赤堀 京子	女	島田市	
4	鈴木 とよ	女	島田市	
5	鈴木 静子	女	島田市	
6	清水 成憲	男	島田市	
7	浅岡 フミ子	女	掛川市	
8	喜多野 晋	男	掛川市	
9	後藤 直己	男	掛川市	
10	鈴木 久裕	男	掛川市	
11	宮崎 玲菜	女	島田市	
12	町 きく江	女	島田市	
13	小澤 康朗	男	島田市	
14	小澤 あつ子	女	島田市	
15	岩堀 敏博	男	島田市	
16	岩堀 幹子	女	島田市	
17	小澤 節子	女	講師	
18	大村 尚澄	男	事務局	
19	長島 誠	男	事務局	
	男性:	10		
	女性:	9		

※ 一般参加者 男:8人、女:8人 事務局 男:2人、女:1人

平成29年度 大井川の源流部を学ぶ視察会 日程

期 日	項 目	時 間	行 程 及 び 説 明 内 容
10月19日 (木)	島田駅南口 (ロータリー) 集 合	7:40	
	概 要 説 明	7:40～ 7:55	研修会の概要説明、視察資料の配布、説明 * 7:55出発
	笹間川ダム	8:38～ 8:55	大井川上流で取水され発電に利水された水は、下流の発電所に送られて再度利水され、一度も大井川本川に戻されることなく笹間川ダムに集められます。その後、さらに下流の川口発電所へ送水されます。
	塩郷堰堤	9:05～ 9:25	この堰堤は、大井川ダム及び支流寸又川合流点下流の余水を集めて笹間川ダムに送水しています。堰堤建設から30年間(水利権)ゲートを下ろして貯水を始めると一滴の水も流れず、河原砂漠が出現。1989年(28年前)に「水返せ運動」によって、堰堤の下流に5tの水が流れることになりました。
	四季の里	9:35～ 9:40	トイレ休憩
	牛の首(小山)	10:10～ 10:20	大井川で2番目に建設された発電所跡
	大井川ダム 奥泉発電所	10:30～ 11:00	大井川ダムは、大井川発電所(崎平)の取水のために、大井川本川を堰き止める最初にできたダムです。奥泉ダムより取水された水が、このダムに放流されていて、ダムの右岸にはそのための水圧鉄管や発電所があります。
	接岨峡温泉会館	11:15～ 12:10	昼食・休憩
	井川ダム	12:35～ 13:15	井川ダムは、わが国で初めての中空重力式(ホーロー・グラビティ)タイプを採用し、昭和32年9月に竣工し日英水力電気(株)が調査してから50年目に実現した。高さ100メートル直下の左岸の井川発電所は落差92.7メートル、最大出力62,000kwです。年間流量の調整と洪水調節・農業用水・飲用水の安定供給を凶っています。
	てしゃまんくの里	13:35～ 13:40	トイレ休憩
	畑薙第一ダム	14:20～ 14:50	畑薙第一ダムは、大井川上流部に建設された中空重力式(ホーロー・グラビティ)ダムとしては世界で最も高い、高さ125mのダムで、下流の畑薙第二ダムとともに初めて混合揚水式発電を行うダムとして建設されました。
	赤崩れ	—	大井川上流部の大きな崩壊地(下車せず通過)
	樺島ロッヂ	15:45～ 15:55	
	燕沢土捨場	16:18	中央新幹線(リニア)の建設土砂土捨場予定地(下車せず通過)
	千石大橋	—	
二軒小屋ロッヂ	16:40	夕食(18:00) 21:00 消灯	

期 日	項 目	時 間	行 程 及 び 説 明 内 容
10月20日 (金)	二軒小屋ロッヂ	7:00 7:50	朝食 ロッヂ出発
	田代ダム 取水水路 取水口 本川流路(滝)	8:05~ 8:55	<p style="text-align: center;"><u>田代川第二発電所(東電)とのかかわりについて</u></p> <p>1. 大井川の本川から山梨県早川(富士川水系)へ導水されている 2. 最大取水量4.99m³/s 最大使用水量 5.34m³/s 3. 水路延長 田代川第二(発) 6,200m 落差 500.9m // 第一(発) 5,800m 落差 350.2m 計 12,000m 851.1m 4. 田代ダムの標高 1,400m 田代川第二(発)の標高 900m 5. 水利権取得 大正10. 2. 7 発電用水許可期限 平成37. 12. 31</p> <p>○H27年12月の水利権更新においては、H17年更新時の合意事項による「河川維持流量(季節により0.43~1.49m³/sとする)」を継続することで合意を得ています。ただし、12/6~3/19における必要流量1.62m³/sについては引続き検証することとしています。 なお、許可期限は10年となっています。</p>
	二軒小屋ロッヂ	9:15	出発 9:15
	樫島ロッヂ	10:00~ 10:25	トイレ休憩
	畑薙第一ダム	11:30	
	白樺荘	11:40~ 12:50	昼食・休憩
	長島ダム	13:55~ 15:10	国土交通省直轄の多目的ダムで、洪水調整のほか農業用水・水道用水の補給の水利を調整します。 長島ダムのコンジットゲート(ダムの中腹のゲート)は、日本最大級の大きさです。
	四季の里	15:45~ 15:50	トイレ休憩
	地名発電所跡	16:05~ 16:15	
島田駅南口 (ロータリー) 到着	17:10	解散 *浜松方面 17:09・29・48発 静岡方面 17:06・22・37発	

※ 畑薙第一ダムから二軒小屋ロッヂまでの移動は、二軒小屋ロッヂの送迎バスを利用し、移動。

大井川源流部を学ぶ視察会 (H29.10.19~20)



笹間川ダム



塩郷えん堤



牛の首(小山)



大井川ダム奥泉発電所



井川ダム



井川ダム



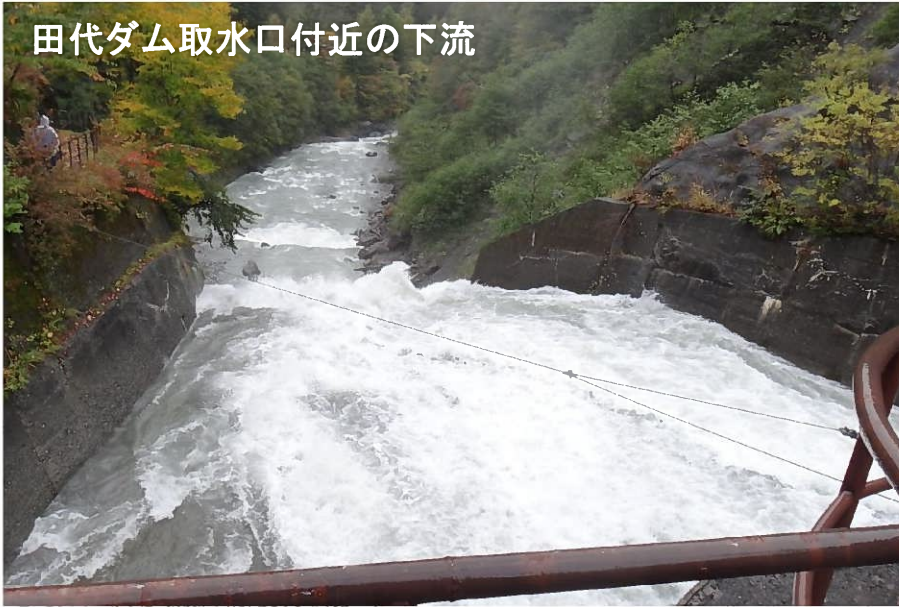
畑薙第一ダム



畑薙第一ダム



田代ダム取水口付近の下流



木賊えん堤



長島ダム見学



地名発電所跡



平成 29 年度「大井川の源流を学ぶ視察会」に関する意見・感想について

○参加者数：16 人（内回答者数：15 人）

○視察会開催をどのような形で情報をえましたか。

- ・新聞掲載・・・・・・・・・・7 人
- ・視察会のチラシ・・・・・・・・1 人
- ・友人等からの紹介・・・・・・・・6 人
- ・市町のホームページ・・・・・・・・1 人

○河床の変化や兩岸の山腹崩壊など、大井川上流部の現状を知っていましたか。

- ・知っていた・・・・・・・・・・11 人
- ・知らなかった・・・・・・・・・・3 人
- ・関心がなかった・・・・・・・・1 人

○大井川の現状を視察して、どんなことを感じましたか

- ・実感として、自然気象に山腹崩壊、河床高、人間知識力、機械力を投入して改善されている現状をまったく受け止めることができませんでした。
（島田市 男性）
- ・下流部は、水より土砂が多く、草木が生えている所を多く見かけると、自然について、又、生活について大きな課題があるように感じました。
（島田市 女性）
- ・河床の低下、土砂の堆積が進んでいること、山腹崩壊がすさまじい状況を見て、国が責任を持って対処する必要性を感じました。（島田市 男性）
- ・以前よりも、大井川に流れる水より土砂などの部分が多く、河床が高くなっているのを感じました。自然の力にはかないませんが、今年は、異常気象による災害も大きな要因になっていると思います。（掛川市 女性）
- ・4 年前にも参加し、今回 2 回目ですが、その間も年々、水の濁りはひどくなる一方で、この先、どこまで進むのか…。リニア整備も何が起こるのか、不安だけがふくらみます。（島田市 男性）

平成 29 年度「大井川の源流を学ぶ視察会」に関する意見・感想

- 堆積した土砂を排除する対策を早急にしなければならないと思う。
(島田市 男性)
- 井川より上流の状況について、今回初めて知りました。(島田市 女性)
- あまりにも土砂が堆積していてびっくり。そのまま水が流れれば解決するのかもしれないが、現状ではできません。(島田市 女性)
- 河川の石や砂利がたくさん積もっていてびっくりしました。大井川の水を全部使っていることがよく分かりました。(島田市 女性)
- 河床が高くなっているのは、想像していたものをはるかに超えていました。ダムの中の部分を強く感じました。ただ、対策については思いつく物はありません。(島田市 男性)
- 日々使用している水が、多くの努力によって維持されていること、また先人の先を見る目、決意、努力、それらを引継ぎ、今を維持改善している皆様に感謝。知る関心を持ち生活していきたい。(掛川市 男性)
- 水利権は複雑で、堆積土砂は深刻。(掛川市 男性)
- 普段の生活において、大井川の水や、それにより発電される電力、設置されているダムによる洪水対策など、受けている恩恵はとても大きいものですが、河床の変化などの問題は全く知りませんでした。ツアーに参加し知ることができ本当に良かったと思います。(島田市 女性)
- 自然環境が不変でないことを痛切に感じました。大井川の源流部を見てみたいという願いはかなえられましたが、現実の姿は、厳しい物があり、どんな対策があるのか、手が付けられないほど深刻なのか知りたいと思います。
(島田市 女性)

○行政や流域住民はどんなことをやっていったら良いと考えますか

- 国、県、市町村、住民が意識を共有し、大井川の源流の現状を広報し、県民にテレビ報道し、意識向上を図ったらいかがでしょうか。(島田市 男性)
- 視察だけではなく、専門家による自然との共存した生活を住民として知り、理解して実践して行く努力が必要に思いました。(島田市 女性)

平成 29 年度「大井川の源流を学ぶ視察会」に関する意見・感想

- 行政に現状を把握してもらうために、地域住民が行動を起こすことが大切。漁業組合が組合員と共に署名活動を行う。山岳愛好者が署名活動を行う。組織作りが必要だと思う。(島田市 男性)
- 科学の進歩と便利な生活が地球環境を悪くして(温暖化など)しまったと思います。大きなことを言っても、すぐに戻れるわけがありません。流域市町(それとも国?)から土砂を取り除くための予算を出してもらい、できる限りのことをしていく。これくらいのことしか考えられません。(掛川市 女性)
- “水返せ!!運動”と同様に“濁りを無くせ!!”運動を展開する。数あるダムもマックスに発電していない。工夫すれば、数を減らせるのではないか。電力会社、管理部署に検討させる。(島田市 男性)
- 自分の使っている水(家庭、会社、農業)がどこからどのような経路で来ているかを学ぶ機会を増やす。(島田市 男性)
- 大井川の自然、生態系を守って行くよう努力してほしい。できる事は協力し参加します。(島田市 女性)
- 島田市に住んでいて、大井川に水が流れている景色は、本当に安らぎと安心を感じます。未来に向かって大井川の何を残して行ったらいいのかを考えてみたいと思いました。将来を担う地元の高校生や大学生に現状を見てもらい、考えてもらい意見を聴くのもいいと思いました。農業、林業、土木、法、経済、文化、福祉等幅広い分野がいいと思います。若い人に意識してもらうだけでも意味があるように思います。(島田市 男性)
- 水が無かったら人は生きていけません。水が無かったら、私たちの生活は困窮してしまいます。あらゆる機会を利用し、一般の人、子供達に水の大切さを伝えたい。(掛川市 男性)
- JRのリニアのトンネル整備による大井川の水の2トンの減少は、JRによる川へ戻す1.3トンと東京電力の維持流量を0.7トン増やし、(東京電力の水利権を0.7トン減らして)2トンにしてはどうか。そして、東京電力の減らした水利権の分は、山梨側の河川より0.7トン増やすという方策はどうか。そのような方向でよければ、住民運動も。(掛川市 男性)

平成 29 年度「大井川の源流を学ぶ視察会」に関する意見・感想

- 大井川流域における、河床の変化や大井川の現状の問題は、地元の方にあまり周知されていないと思われるため、このようなツアーを続けていただくと共に、流域住民の方と意見交換会などを実施し、大井川のこれからを考えて行くと良いと思います。（関係する企業の方も参加していただくといいかもしれません。）（島田市 女性）
- 各自治体の枠を越えて、広域で考えることが大切。住民が行政任せでなく、自分のこととして考えること。考えて行動する大人となるよう、子供達にその種をまく。（島田市 女性）

○その他

- 改めて、現在の自分達が便利な生活をしている間に失っているものも多かったです。参加させていただき、大井川について知識がとても深まりました。（島田市 男性）